

プランクトン調査結果のお知らせ

本日、野見湾奥海面に着色がみられたとの報告があり、海水の検鏡を行いましたので結果をお知らせします。

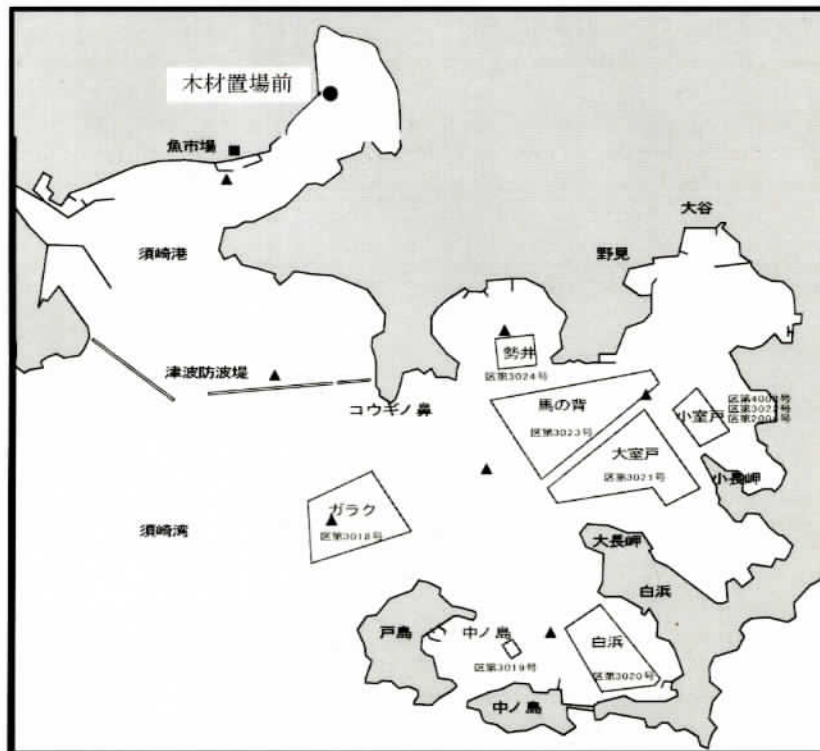
検鏡の結果、魚類に有毒なヘテロシグマ・アカシオ、コクロデニウム・ポリクリコイデスと貝毒原因種のアレキサンドリウム属が(表1)確認されました。

細胞の特徴からアレキサンドリウム属は、アレキサンドリウム カテナラ(警戒密度500cells/ml:大阪府)かアレキサンドリウム リー(警戒密度に関する知見なし)です。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 検鏡結果

	ヘテロシグマ・アカシオ	コクロデニウム・ポリクリコイデス	アレキサンドリウム属
木材置場前(0m)	6,900cells/ml	11cells/ml	20cells/ml
木材置場前(3m)	2,500cells/ml	8cells/ml	12cells/ml



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・コクロデニウム・ポリクリコイデス: 数百~1,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・アレキサンドリウム属: 500(カテナラ)~cells/ml(貝の毒化)